



Kindergarten

保育理念

多様化する就労形態や家庭環境への理解のもと、保育を必要とする子どもに良質な保育を提供し、子どもも保護者も笑顔になれる子育て支援を行う。



保育目標

いきいきとあそぶ子ども
(健やかな身体・豊かな心)

のびのびと自己主張する子ども
(自己肯定感・子ども主体)

あたたかくかかわりあえる子ども
(非認知能力・思いやりの芽)

保育方針

- 24時間の生活を見据え、家庭での生活との連続性を大切にした生活リズムを整え、子どもの体調や様子にあわせた生活を営めるよう配慮する。
- 毎日の戸外活動を通して自然や季節に親しみ、寒さや暑さに負けない体を作る。
- さまざまな体験をとおしてたくさんの好きなことや興味あることに会う。

- 日常的に応答的・受容的で丁寧なかかわりをもつことで十分な自己肯定感を育む。
- ありのままの姿をみとめ、主体として尊重し、ひとりひとりにあわせた成長・自立への援助を行う。

- 子どもが遊びの中で出会う様々な気持ち(楽しい・悔しい・嬉しい・もどかしい等)をひとつひとつ尊重し、それを伝えたり友だちの気持ちに触れたりできるよう仲立ちする。
- 様々な体験を保育者や友だちと共有する中で、甘えの受容と励ましをバランスよく受け、やりぬく力・失敗に負けない力・好奇心・思いやりなどの非認知能力(「生きる力」)の育ちを援助する。

